

第89回 簿記実務検定第2級試験問題 商業簿記 (制限時間 1時間30分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	割	賦	売	掛	金			
仮	払	法	人	税	等	買	掛	金		未	払	法	人	税	等		
保	証	債	務		社	資	本	金		繰	越	利	益	剰	余	金	
売		上			社	債	償	還	益	仕		入	創	立	費		
株	式	交	付	費	社	債	償	還	損	保	証	債	務	費	用	本	店
大	垣	支	店		高	山	支	店		法	人	税	等	損		益	

- a. 宮崎商店に商品 ¥408,000 を24か月の均等分割払いで売り渡した。
- b. 鹿児島商事株式会社は、法人税・住民税及び事業税の確定申告をおこない、決算で計上した法人税等 ¥3,000,000 から中間申告のさいに納付した ¥1,800,000 を差し引いた額を現金で納付した。
- c. 岐阜商会の本店は、高山支店が大垣支店の仕入先に対する買掛金 ¥530,000 を現金で支払ったとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
- d. 熊本商事株式会社は、設立にさいし、株式300株を1株につき ¥80,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、設立に要した諸費用 ¥470,000 は小切手を振り出して支払った。
- e. 九州産業株式会社は、決算の結果、当期純利益 ¥2,210,000 を計上した。
- f. 大分商事株式会社は、割引発行した社債 額面総額 ¥70,000,000 (帳簿価額 ¥69,300,000) のうち、額面 ¥20,000,000 を額面 ¥100 につき ¥98.80 で小切手を振り出して買入償還した。
- g. 佐賀商店から商品 ¥900,000 を仕入れ、代金は得意先唐津商店振り出し、当店あての約束手形 ¥600,000 を裏書譲渡し、残額は掛けとした。なお、保証債務の時価は手形額面金額の1%とする。

2

次の取引を特殊仕訳帳としての売上帳およびB品の商品有高帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 ii 特殊仕訳帳および商品有高帳は、月末に締め切るものとする。
 iii すでに記入してある取引も転記すること。
 iv 総勘定元帳および売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳を用いている。
 vi 商品有高帳は、移動平均法により記帳している。

取引

1月/6日 静岡商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 700個 @¥650 ¥455,000

1/7日 静岡商店に売り渡した上記商品について、次のとおり返品された。

A 品 20個 @¥650 ¥13,000

22日 長野商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品 600個 @¥440 ¥264,000

B 品 800〃 〃 〃 500 ¥400,000

28日 山梨商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥300,000 は同店振り出しの小切手#5で受け取り、残額は掛けとした。

B 品 900個 @¥700 ¥630,000

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 支店会計が独立している浜松商店（個人企業 決算年/回 12月31日）における下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 本支店合併後の現金

資料

- i 12月30日における元帳勘定残高（一部）

	本 店	支 店
現 金	¥ 281,000	¥ 179,000
支 店	823,000 (借方)	—
本 店	—	733,000 (貸方)

- ii 12月31日における本支店の取引

- ① 本店は、支店の買掛金 ¥48,000 を現金で支払った。
支店は、その報告を受けた。
- ② 本店は、広告料 ¥60,000（うち支店負担分 ¥20,000）を現金で支払った。
支店は、その報告を受けた。
- ③ 本店は、支店が12月29日に送付していた送金小切手 ¥51,000 と商品 ¥39,000（原価）を受け取った。

- (2) 愛知商店では伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。よって、
- a. /月/〇日の略式の伝票を集計したさいの仕訳集計表の(ア)と(イ)に入る金額を計算しなさい。
ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。
- b. 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の仕入勘定の残高を計算しなさい。ただし、/月9日の仕入勘定の残高は ¥3,280,000 であった。

取 引

/月/〇日 一宮商店から商品 ¥160,000 を仕入れ、代金は小切手#8を振り出して支払った。

入金伝票	
売 掛 金	240,000
当 座 預 金	126,000
受 取 利 息	7,000
() ()	

出金伝票	
買 掛 金	150,000
当 座 預 金	120,000
支 払 家 賃	70,000
() ()	

売 上 伝 票	
岡 崎 商 店	185,000
半 田 商 店	288,000
東海商店(返品)	11,000
豊 田 商 店	463,000

仕 入 伝 票	
小 牧 商 店	205,000
名 古 屋 商 店	142,000
田原商店(値引)	2,000
() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
買 掛 金	100,000	支 払 手 形	100,000
支 払 手 形	55,000	当 座 預 金	55,000
買 掛 金	43,000	前 払 金	43,000
当 座 預 金	243,000	売 掛 金	243,000
受 取 手 形	178,000	売 掛 金	178,000
() ()		() ()	

仕 訳 集 計 表

令和〇年/月/〇日

借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		(ア)
		前 払 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		売 上		
		受 取 利 息		
		仕 入		
		支 払 家 賃		
(イ)				(イ)

- (3) 長崎商店（個人企業）の下記の仕訳帳と資料によって、次の金額を記入しなさい。

a. 仕訳帳の(ア)の金額

b. 仕 入 高

c. 期首の負債総額

仕 訳 帳		20	資 料	
令和〇年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
12/31	決 算 仕 訳			
	(売 上)		6,324,000	
	(損 益)			6,324,000
〃	(損 益) 諸 口 省 ()			
	(仕 入)			4,517,000
	(給 料)			948,000
	(減価償却費)			375,000
	(雑 費) 略			(ア)
〃	(損 益)		461,000	
	(資 本 金)			461,000

- i 期首の資産総額 ¥2,830,000
(うち商品 ¥520,000)
- ii 期末の資産総額 ¥2,960,000
(うち商品 ¥490,000)
- iii 期末の負債総額 ¥1,250,000
- iv 期間中の追加元入額 ¥ 100,000
- v 期間中の引出金 ¥ 140,000

4

福岡商店（個人企業 決算年/回 12月31日）の総勘定元帳残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、損益計算書（2区分）と貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 903,000	当座預金	¥ 2,113,000	受取手形	¥ 1,400,000
売掛金	2,378,000	貸倒引当金	8,000	有価証券	1,920,000
繰越商品	281,000	備品	1,200,000	備品減価償却累計額	640,000
支払手形	925,000	買掛金	1,539,000	借入金	800,000
資本金	6,000,000	売上	10,780,000	有価証券売却益	90,000
仕入	7,029,000	給料	2,130,000	発送費	232,000
支払家賃	780,000	保険料	216,000	消耗品費	91,000
雑費	93,000	支払利息	16,000		

付記事項

- ① 北九州商店に対する売掛金 ¥78,000 が、当店の当座預金口座に振り込まれていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥317,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定額法による。ただし、残存価額は零（0） 耐用年数は/5年である。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
佐世保商事株式会社 60株 時価 /株 ¥33,000
- e. 消耗品未使用高 未使用分 ¥23,000 を消耗品勘定により繰り延べる。
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥156,000 は、本年6月/日から/年分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 利息未払高 ¥ 8,000

第89回 簿記実務検定 2級 商業簿記〔解答用紙〕

1	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

[illegible]

帳 高 有 品 商

(移動平均法)

品 名	B	品
-----	---	---

単位：個

[illegible]

総勘定元帳

現金		1	当座預金		2
1/1 前期繰越	267,000		1/1 前期繰越	635,000	
受取手形		3	売掛金		4
1/1 前期繰越	394,000		1/1 前期繰越	300,000	
売上		19			

売掛金元帳

静岡商店		1	中部商店		2
1/1 前月繰越	60,000		1/1 前月繰越	80,000	
山梨商店		3			
1/1 前月繰越	100,000				

3

- (1)
- | | | | |
|---|---------------------------|---|---------------|
| a | 支店勘定残高と
本店勘定残高の
一致額 | b | 本支店合併後の
現金 |
|---|---------------------------|---|---------------|
- (2)
- | | | |
|---|---|---|
| a | ア | イ |
| b | | |
- (3)
- | | | |
|---|--|---|
| a | | b |
| c | | |

2
得点

3
得点

4

損 益 計 算 書

福岡商店

令和○年/月/日から令和○年/2月3/日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
()		売 上 高	
仕 入 高		期 末 商 品 棚 卸 高	
()			
給 料		売 上 総 利 益	
()		有 価 証 券 売 却 益	
()		()	
発 送 費			
支 払 家 賃			
保 険 料			
()			
雑 費			
()			
()			

貸 借 対 照 表

福岡商店

令和○年/2月3/日

(単位：円)

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
()			
()			
消 耗 品			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

4

得点

第89回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [解 答]

1	借 方	貸 方
a	割 賦 売 掛 金 408,000	売 上 408,000
b	未 払 法 人 税 等 1,200,000	現 金 1,200,000
c	大 垣 支 店 530,000	高 山 支 店 530,000
d	当 座 預 金 24,000,000 創 立 費 470,000	資 本 金 24,000,000 当 座 預 金 470,000
e	損 益 2,210,000	繰越利益剰余金 2,210,000
f	社 債 19,800,000	当 座 預 金 19,760,000 社 債 償 還 益 40,000
g	仕 入 900,000 保 証 債 務 費 用 6,000	受 取 手 形 600,000 買 掛 金 300,000 保 証 債 務 6,000

2

売 上 帳

2

令和 ○年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口
		前ページから		260,000	160,000
/	/4	受取手形 中部商店 約手	3		200,000
		売 掛 金 掛 け	売2	178,000	
		A 品 600個 @¥630			
	16	売 掛 金 静岡商店 掛 け	売1	455,000	
		A 品 700個 @¥650			
	17	売 掛 金 静岡商店 掛け返品	売1	13,000	
		A 品 20個 @¥650			
	28	現 金 山梨商店 小切手	✓		300,000
		売 掛 金 掛 け	売3	330,000	
		B 品 900個 @¥700			
				1,223,000	660,000
	31	売 掛 金	4		1,223,000
	〃	総売上高	19		1,883,000
	〃	売上返品高	19/4		13,000
		純売上高			1,870,000

商 品 有 高 帳

(移動平均法)

品 名 B 品

単位：個

令和 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/	/	前月繰越	200	550	110,000			200	550	110,000
	22	長野商店	800	500	400,000			1,000	510	510,000
	28	山梨商店				900	510	100	510	51,000
	31	次月繰越				100	510			
			1,000		510,000	1,000	510,000			

総勘定元帳

現金		1	当座預金		2
1/1 前期繰越	267,000		1/1 前期繰越	635,000	
受取手形		3	売掛金		4
1/1 前期繰越	394,000		1/1 前期繰越	300,000	1/31 13,000
14	200,000		31	1,223,000	
売上		19			
1/31	13,000	1/31 1,883,000			

売掛金元帳

静岡商店		1	中部商店		2
1/1 前月繰越	60,000	1/17 13,000	1/1 前月繰越	80,000	
16	455,000		14	178,000	
山梨商店		3			
1/1 前月繰越	100,000				
28	330,000				

3

(1)	a	支店勘定残高と 本店勘定残高の 一致額	801,000	b	本支店合併後の 現金	403,000
(2)	a	ア	¥ 672,000	イ	¥	2,948,000
	b		¥ 3,785,000			
(3)	a		¥ 23,000	b	¥	4,487,000
	c		¥ 1,541,000			

4

損 益 計 算 書

福岡商店

令和〇年/月/日から令和〇年/2月3/日まで

(単位: 円)

費 用	金 額	収 益	金 額
(期 首 商 品 棚 卸 高)	281,000	売 上 高	10,780,000
仕 入 高	7,029,000	期 末 商 品 棚 卸 高	317,000
※(売 上 総 利 益)	3,787,000		
	11,097,000		11,097,000
給 料	2,130,000	売 上 総 利 益	3,787,000
(貸 倒 引 当 金 繰 入)	29,000	有 価 証 券 売 却 益	90,000
(減 価 償 却 費)	80,000	(有 価 証 券 評 価 益)	60,000
発 送 費	232,000		
支 払 家 賃	780,000		
保 険 料	151,000		
(消 耗 品 費)	68,000		
雑 費	93,000		
(支 払 利 息)	24,000		
※(当 期 純 利 益)	350,000		
	3,937,000		3,937,000

- (i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
ii ※印の売上総利益と当期純利益の記入は、赤記でもよい。)

貸 借 対 照 表

福岡商店

令和〇年/2月3/日

(単位: 円)

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金	903,000	支 払 手 形	925,000
当 座 預 金	2,191,000	買 掛 金	1,539,000
受 取 手 形 (1,400,000)		(借 入 金)	800,000
貸 倒 引 当 金 (14,000)	1,386,000	(未 払 利 息)	8,000
売 掛 金 (2,300,000)		資 本 金	6,000,000
貸 倒 引 当 金 (23,000)	2,277,000	(当 期 純 利 益)	350,000
(有 価 証 券)	1,980,000		
(商 品)	317,000		
消 耗 品	23,000		
(前 払 保 険 料)	65,000		
備 品 (1,200,000)			
減価償却累計額 (720,000)	480,000		
	9,622,000		9,622,000